

# 学 園 通 信



No. 249

九里学園高等学校 P T A

2012.3.1 発行

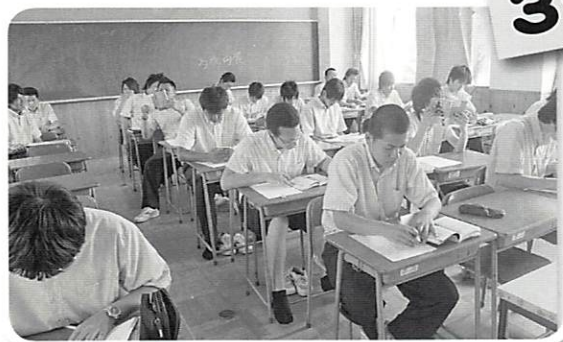
2年生



1年生



3年生



## 九里の絆 卒業おめでとう!





## 運が悪かったでは済まさない

学校長 九里 廣志

夢が、幸せが、こんなに簡単に無残に失われてしまっているのか……。3月11日の地震、そしてそれに続いての大津波や原発事故は、私たちに本当に大きな喪失感をもたらした。

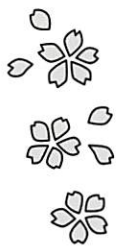
今朝、笑顔で「行って来るぞ」と言って仕事に出かけた父が、「行ってらっしゃい」と送り出してくれた母が、「行ってきま〜す」と大きな声で学校に出かけた子供が、今まで一緒に夢を語っていた友達が、やさしかったおじいちゃんやおばあちゃんが、こんなに簡単にいなくなってしまうとは。土台だけ残った家の跡は、想像以上に小さかった……。誰ノセイデモナイ？ 損ナメグリアワセデ、運ガワルカッタノ？ 泣き、悲しんで日々が過ぎていく。

原発の事故で、多くの放射能が空中に撒き散らかされた。「想定外」という言葉がやたら使われ、無理やり納得させられていった。住み慣れた家を捨てさせられて、見知らぬ土地で、いつまで続くのか先の見えない生活を余儀なくされた。放射能の影響については、何十年という単位でしか物事を考えることができなくなった。故郷が足を踏み入れることのできない所になってしまおうとは……。誰ノセイデモナイ？ 損ナ

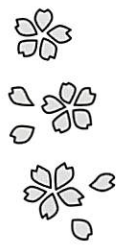
メグリアワセデ、運ガワルカッタノ？ 泣き、悲しんで日々が過ぎていく。

昔、「戦争」という怪物が国民の命を奪っていった。みんなの夢や幸せを守るためにと、多くの若者たちが果敢に戦場に向かった。「必ず帰ってくるよ！」と出て行ったきり、帰ってきたのは戦死の報せ。守るといった大地が焼け野原になり、残された家族は生きること必死だった。戦争が始まったあの時はこんなことになるとは思っていなかったのだ。女も子供もみんな犠牲になったが、文句など言えなかった……。誰ノセイデモナイ？ 損ナメグリアワセデ、運ガワルカッタノ？ 泣き、悲しんで日々が過ぎていった。

これから人生の夢が奪われないように、私たちのすべきこととは何だろうか。学ぼう、何が大切なのかを。一緒に考えよう、どうすればいいのかを。お互いを知ろう、何を求め、何を与えたいと思っているのかを。そして自分から行動しよう、みんなと力をあわせて。そんな中から君たちの将来の夢が実現してゆくのだらうと思う。もう泣き、悲しんでなんかいられない。負けないぞ！ 頑張ろう！



# ご卒業おめでとう



## 「ジャンプ」

PTA会長 金子 和幸  
第三学年部会長

非常に厳しい寒さに豪雪と希にみる辛い冬となりました。そんな中でも雪の下には緑の新芽が息吹き始め、確実に春の訪れを感じられる弥生三月。緑の新芽とともに新しい世界を焦がれる卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

また、保護者の皆様、教職員の皆様そして学校関係者の皆様のこれまでの多大なご支援とご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんにとって、この学校で過ごした三年間はどんな日々だったのでしょうか。

初めて顔を合わせた同級生との出会いから始まった高校生活。学年行事、クラスマッチ、九里祭、体育祭、研修旅行そして、部活動など様々な場面でいろんな人と出会い関わり、たくさんさんの思い出が蘇ってくることでしょ。

高校の三年間は人間形成をなすうえで最も重要な時期だと考えます。その重要な時期を過ごした、この学校での思い出は皆さんの一生の宝物になることではないでしょうか。

昨年、平成二十三年三月十一日、何万人もの尊い命が失われ、現在も途方もない数の人々が不自由な生活を強いられている「東日本大震災」。この災害は決して忘れる訳にはいきません。悲しいことですが、この大震災で初めて形骸的な個人主義ではなく、魂から発せられる心が復活したと思います。まさしく「絆」ではないでしょうか。

不安になったり悩んだり、時には恐怖を感じたりすることがあります。このような逆境は悪いことばかりなのでしょうか。例えば、高くジャンプしたいとすると低く体を屈めて力を貯めます。人生においても同じことだと思います。より高い目標に達したければ、一度低く屈まなければならぬのです。この低く屈む辛い時期にこそ、人は力を蓄え成長できるのではないのでしょうか。

三年生の皆さんに伝えたいことが、二つあります。一つ目は、人生において努力は決して人を裏切らないということ。二つ目は、苦しみや悲しみを希望に変える力があるからこそ人は幸せを感じる事ができる。

最後になりましたが、卒業生の皆さんのこれからの人生が輝かしいものであるりますよう心よりエールを送ります！

## 出会いは自分が招く

第二学年部会長 高梨 進

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、これから自分で人生を切り開いて行かなければなりません。人生は出会いと別れの連続です。その出会いは人であり仕事であり、ある時は商品や技術などの場合もあります。しかし出会いは、自分にとっていつでもプラスの場合だけでなく人生をも狂わせるマイナスの場合もあります。思い出せば頭が下がりあの人のお陰で今の自分があるとただただ感謝で一杯の出会いがあります。逆に、思うだけで苦しさが入り込んでくる出会いもあるでしょう。今までの私の経験上、良い出会い、悪い出会いは、すべて自分が招くといってもいいでしょう。同じものを

見聞きしても、それをチャンスと見るか、それとも手を出すべきではないと見るかは、すべてその人自身にかかっています。常に脇を締め、少しでも世のため人のために役に立つという心を持つ時にこそ、不思議と良い出会いが生じます。そこに道が拓けるものと信じて、今という時を喜んで進もうではありませんか。

## 「未来に向かって」

第一学年部会長 片倉 登

三年生の生徒の皆さん、そして、保護者の皆様、御卒業おめでとうございませす。色々進む道はわかれるでしょうが、一人一人が自分の将来を見据えて、自分の目標、そして未来に向かって一歩一歩前進し、九里学園で学んだ色々なこと、特に礼と譲の精神を忘れずに頑張ってください。大人になっていくうえで、今まで以上に辛い苦しいことがまっているでしょう。それは、大人になるための一つの壁であり、その壁を突破できれば、素晴らしい未来がまっているはずですよ。そして、たくさんの方にチャレンジして下さい。失敗しても成功しても、その経験が将来の自分にとっての糧となるでしょう。それから、三年間の学友を大切にしてください。新しい友人も大切ですが、旧友も大切です。又、親にそして、人に感謝の気持ちを忘れないようにして下さい。人間一人では生きられません。たくさんの人とどんな交流をはかり、未来に向かって羽ばたいて下さい。



# 卒業おめでとう

～ “飛翔” 新たなステージへ ～

## 人生の門出に

第三学年主任 遠藤 英



みなさん、ご卒業おめでとうございます。高校生活からの

卒業は、同時に、大人に手を引かれ身の回りの事をやってもらいう毎日からの卒業です。これからみなさんの行く先を示し、背中を押してくれるのは、世の中のたくさん「他人」です。みなさんは、世の中を支え動かしていく一員として、社会の「仲間」の輪に入っていく、そのスタートラインが平成二十四年三月三日なのでしよう。

私の過去を振り返ってみると、高校卒業のころ、何となく「人生」という言葉を意識したことを覚えています。世の中と向き合いながら、自分の生き方を自分で決めていく楽しさと不安とが入り混じった気持ちで日々を送っていたような気がします。あれから二十七年間、当然のごとくこの年齢になっても学びと成長の毎日ではありませんが、それでも生きる方向や姿勢は、高校卒業後の数年の間におお

かたは出来上がっていったように思います。

私たちが九里学園でみなさんと向き合ってきたのは、みなさんが幸せな人生を送ることができるようにも少しでも助力をしたいという思いです。もちろん、何が幸せなのかは人それぞれですが、それがどんな幸せであっても、幸せは待つて手に入るものではなくて自分から取りに行かなければならないものだと思います。そして、自ら歩み出す人には、必ずや、共に幸せになろうと行く先を指し示し、背中を押してくれる人が現れるものと信じています。

どうか、みなさん、幸せな人生を手に入れてください。  
みなさんの人生の門出に、御祝いのエールを贈ります。

## 卒業する三年生へ

三年副担任 熊澤 広二



皆さん、ご卒業おめでとうございます。「高校時代の仲間は一生涯の友」です。ずっと大切に

に。また、「感謝の気持ち」をいつも忘れずに。そして「人生はこれからが本番」です。自信を持って新しい道を進んでください。五年後、十年後、皆さんが立派な社会人となって活躍されていることを祈っています。

## 「卒業に寄せて」

三年副担任 町田 悦子



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

大雪だった今年ですが、ここ数日の日中の暖かさは、確かに春が来ていることを実感させます。人生の季節にも様々な変化、喜びや哀しみがありますが、「青春」真っ盛りの皆さんの明るさと意欲を持って、今後大いに活躍されるよう期待しています。

おめでとうございます。





## 『ありがとう』

担任 中山 大輔



皆さんと過ごし  
たこの三年間、毎  
日が新鮮で面白  
かったです。空き時間に駐輪場の  
整理を手伝ってくれたり、九里祭  
で率先して踊りを覚えて教えてく  
れたり、朝の立哨を手伝ってくれ  
たり、一人ひとりの協力があつた  
からこそ、今の私があります。君  
達一人ひとりには、人を支えられ  
るだけの力があります。その力を  
より良く活かすための知識や技能  
を全力で身に付けて下さい。君達  
の存在がある人の笑顔になり、喜  
びになるように願っています。困  
難があるときはココを立ち返る点  
とし、希望の未来へと羽ばたいて  
下さい。

## クラスモットー

## 『第一ボタン!』

## 『三年間を振り返って』

高橋 将太

高校生活を振り返ると、とても  
有意義な三年間でした。特に学校  
行事、中でも九里祭が印象に残っ  
ています。三年次の模擬店では、  
自分達でお金の管理をし、自分達  
で料理を作り販売することで、社  
会に出てから必要な責任感を一人  
ひとりが身に付けることができま  
した。このように多くの事を学ぶ  
ことができた素晴らしい三年間で  
した。

## 『高校野球から得たもの』

竹田 尚平

私の高校三年間はほぼ野球でし  
た。朝の掃除から始まり、夜遅く  
までグラウンドで自分を鍛えあげ  
ました。野球中心の生活をここま  
で毎日やってこられたのも周囲の  
支えがあったからです。野球をさ  
せてもらえることに感謝をするよ  
うに、これからの生活でも感謝の  
気持ちを忘れないようにしていき  
たいです。

## 『3-year memory』

白石 瑞希

私は三年間クラス運営委員長  
としてクラスをまとめてきまし  
た。クラスの雰囲気は全員が明  
るく毎日が楽しいクラスです。

そしてお互いに助け合いなが  
ら生活していく仲間でもありま  
す! 学年行事のときはクラス全  
員で登山を成功させるために、  
励まし合い、そこで強い絆が生  
まれたと思います! 私はこのク  
ラスの一員になったことを幸せ  
に思います!







## 周りを観ろ・ 状況を判断しろ



担任  
佐藤 秀人

今の自分の行動は正しいのか？今の自分の発言は適切なのか？自分の役割は何なのか？自分には何が足りないのか？自分には何ができるのか？今日は何をするべきなのか？明日は何をするべきか？困ったとき、誰に相談すべきか？自分の言動に対して周りの反応はどうなのか？

周りの人のことを考えられない大人は哀れだと思ふ。周囲の反応を理解できない大人は哀れだと思ふ。常に観ろ、常に判断しろ。観て覚えろ、聞いて学べ、そして、最善の判断をしろ。

これからの人生、大いに楽しめ。

### クラスモットー

「早く帰りたければ  
黙って担任の話を聞け！  
ハウスを綺麗にしろ！」

## 振り返り

太田 雅人

僕は、この三年間でいろいろなことが、たくさんありました。とくに部活で三年生が引退してから、二年生と一年生の自分達が頑張らなくてはいけないのに、なぜか一年生の自分達がメインのような感じになった時は、驚きました。今は後輩達が地区優勝して、良い結果を残しているのです、これからも上を目指して欲しいです。

## 三年間を振り返って

金子 堯宙

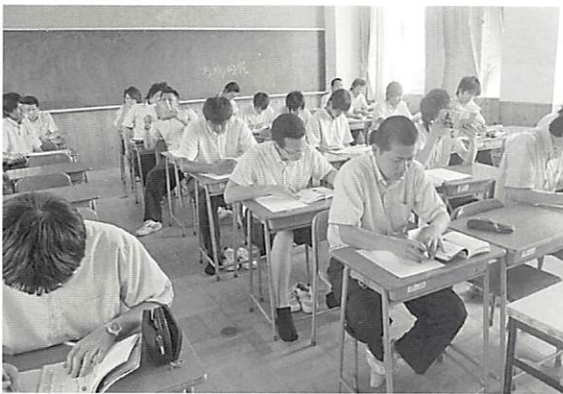
三年間を振り返って、私は部活に打ち込む日々でした。九里学園陸上部は競技力の向上はもちろんですが、更に一人の人間として、礼儀や謙虚な気持ちを教えていただきました。

またその他にも「やればできる」という言葉をかけており、これから先、この精神を思い出し頑張っていきたいと思います。

## 三年間を振り返って

渡部 裕人

三年間を振り返って思い出に残っていることは、二つあります。一つ目は部活動です。自分がやっていた部活動は野球部です。この三年間監督の左和明先生にびっちり指導してもらったこととチームの仲間と一試合一試合本気で戦ったことが思い出です。二つ目はクラスのみんなに出会えたことが一番の思い出です。





卒業おめでとう

担任  
佐藤 健太

三年生のみなさん、卒業おめでとう。二年生から、担任として皆さんの成長を見守ってきました。特に最近の成長には目を見張るものがあり、私は喜びでいっぱいです。経済の不安定や、昨年の震災など、皆さんがこれから出て行くとする社会は厳しい状況かもしれません。そんな時は、九里学園の「礼」と「譲」を思い出して、歯を食い縛って頑張ってくださいと思います。自分の可能性を信じて、他人の役に立つことをする。社会がどう変化しようとも、それが一番大事です。皆さんの若いパワーに期待しています。

クラスモットー

「礼と譲を  
大切に。」

咲け！蒲公英の花！

遠藤 翠

私がこの三年間を振り返り、思い起こすことは、信頼し尊敬する指導者のもと、大好きな仲間と駆けつけた部活動のことです。

「やればできる」「冬は青春の出发点」などのコーチ、監督から頂いた多くの言葉や、辛い練習を乗り越えた日々は、今でも私を支えてくれています。陸上部での思い出を胸に夢に向かって頑張っています。

大学受験

内海 利保

三年間を振り返り、私が一番印象に残っているのは大学受験です。

私には児童養護施設で働きたいという夢があったので、福祉と幼児教育の専門知識を学べる大学を推薦で志望しました。小論文が難しい大学だったので小論文対策に特に力を入れました。対策の甲斐があり、無事に合格を手に入れることができました。四月からは大学生として夢を叶えるために頑張っていきたいと思います。

私にとっての生徒会

深沢 和礼

私は生徒会の中でボランティア委員長を務めてきました。初め、ボランティアとは「してあげるといって一方通行だと思っていました。しかし校外の活動などから、ボランティアは与えるだけではなく自分も何かを貰っていると考えようになりました。三年間の生徒会での経験は、私を人として成長させたと思っています。







大事なこと



担任  
鈴木 涼子

『負けないこと、投げ出さないこと、逃げ出さないこと、信じ抜くこと』

どこかで聞いたことのある歌詞です。でも、今ここにきて、今までもこれからも『それが一番大事』だと実感しています。三年間みんなと過ごしたこと、特に三年目は四組のみんなとの時間が多くの意味で忘れられません。怒って泣き、感動して泣いた、そんな心を揺さぶられた日々が、私にとってもみんなにとっても成長してきた軌跡となりました。ありがとう。おめでとう。

ダメになりそうな時、何が一番大事なことが、思い出して下さい。

### クラスモットー

「卒業！自分勝手な  
言動をせず、健康第一  
一からの笑顔第一!!」

### 九里に入って学んだこと

伊藤あかね

この三年間、たくさんのことを学びました。

勉強・部活はもちろんですが、友人との絆や先生方とのコミュニケーションが、社会に必要なだと改めて感じました。

でも、三年間はとても楽しい毎日でした。授業が楽しいし、友人との時間も楽しかったです。学校は自分を成長させてくれました。

### 成長した三年間

佐野麻祐子

私はソフトボール部に所属していました。その中で、周りへの気配りや感謝の気持ちなど、前以上に身につけることができました。

学校行事ではクラス全員が一つになり、楽しくも本気で取り組み、最高の思い出になったと、いま感じています。

九里学園に入学し、大きく成長できた三年間でした。

### 九里での三年間

塩野 絢

九里学園に入学して、たくさんのことを学び、成長できたと思っています。クラスの仲間とも信頼関係を築くことができました。

クラスの仲間と過ごした日々や思い出は、一人ひとりの心の中で生き続けることができます。

私は、卒業してからも礼と譲を大切にしていきたいと思っています。九里で本当に良かったです。







## 「あつという間の三年間」



担任

根津 利栄

みなさん、卒業おめでとうございます。一年生のころはクラスで大声を立てることも多かったのですが、学年が上がるにつれ、次第にその機会も減っていったように思います。それは、少しずつではありますが、みなさんが成長し、お互いの信頼関係が深まったからだと思います。クラス・授業・クラブ活動など様々なことを通して皆さんと関わってきましたが、とても楽しく有意義な毎日を送ることができ、本当にありがとうございます。

みなさんのこれからの活躍を心よりお祈りいたします。

### クラスモットー

「元氣いっぱい」

「なかよしクラス」

## 我、九里生なり

渡部 愛

期待と不安でいっぱいだった高一の春。あれから三年が経とうとしている今。沢山の出逢いとかけがえのない宝物を九里から私にもらった。毎日が楽しい事ばかりでなく、辛い事もあった。そんな日々も含めて、充実した三年間だったと私は言える。これから先の将来、私は幸せな人生を送るだろう。私の幸せの原点は九里で見つけたから。

## 最高の三年間

色摩ともみ

九里学園で過ごした三年間は、私にとって本当に最高のものでした。学校行事でたくさん騒いだり先生に怒られたり、友人関係で悩んだり、毎日の学校生活が自分にとって学びの場となり、色々なことを教えて頂きました。これからは皆、違う道に進むことになりましたが、ここで得た思い出や学んだことを大事にしたいと思います。

## 「三年間を振り返って」

金子 亜未

この三年間を振り返ると、部活や勉強、進路など充実した三年間だったと思います。先生や友達、家族に支えられ新しい自分を築けたことが自分にとって一番の成長です。九里の校是である「礼と譲」の精神を学べたこと、自分のしたいものが見つけられたことをとても誇りにおもいます。三年間、本当にありがとうございました。





## 『皆我師』

担任  
横山 明良

剣豪宮本武蔵の言葉です。自分以外の、人でも物でも皆、自分に何かを教えてくれる先生だという意味です。

高校の三年間で皆さんは『何を』『誰から』学びましたか。すぐに気が付かなくてもいいのです。時間が経ち、成長と共に分かることが多いのです。

そこで、人の話に謙虚に耳を傾けて下さい。何か伝えたいことがあるということに分かって下さい。そうやって学び続けて下さい。

高校卒業が本当の意味での『人生の出発』になります。新たな旅立ちに幸あれ！

## クラスモットー

「将来のために  
今頑張ることは  
何だ？」

## 『三年間を振り返って』

沓澤 佳奈

九里に入学してから、異文化交流や木造校舎での授業、海外へ行ったりと他の高校では体験できないようなことをいくつも体験させてもらいました。それによって、以前より物事に対する視野が広がり、充実した三年間だったと思います。

## 『三年間を振り返って』

尾形 夏美

今考えるとあつという間の三年間でした。自分でも思っていた以上に多くの人との出会いがあり、嬉しいことやつらいこと、楽しいことなどがたくさんありました。この高校生活は私にとってかけがえのない大切なものです。九里学園で過ごした日々やそこから得たことを社会人になっても忘れずに活かしていきたいです。

## 『三年間を振り返って』

長谷川智子

私は三年間陸上中心に生活してきました。勉強と部活の両立が難しく、予習など大変だった時もありました。でもその分勉強の大切さや部活への集中力もつきました。また、プロコースは少人数でしたが学校の行事などではみんな協力して頑張れたと思います。私にとって濃い三年間でした。





# 3年間のエピソード

- 三年四組第一の思い出は、やはり体育祭です。「中間成績」で上位入賞を果たし(?)、最終的には応援賞をいただきました。前日にクラス全員でビデオを見ながら、音楽に合わせて歌いながら振りの練習をしていました。当日は、歌詞もついてみんなの動きがびったりと合っており、大きな声援が聞こえていました。スタンドを遠くから見たときの感動が忘れられません。



クラス目標にと、みんなが決めた「自分勝手な言動をしない」に関しては、達成に個人差はあるような気がするものの、全員が一年前よりは確実に成長して大人になっていると感じました。基本的に楽しいことが大好きなみんなだったので、なぜか学年ボランティアの日やプラネタリウムを見に行く日には、具合が悪かろうが寝坊をしようが、ほぼ全員が登校したのでした。10月の月間目標に定めた「遅刻0」は、達成できずに半永久的な目標に途中から切り替わりましたね。驚くことに、未だ達成できていません。(2月現在)卒業の日くらいは、達成できますように・・・(涙!)

- プログレスコースの思い出は・・・二年次の九里祭発表で前日まで練習していたダブルダッチを当日にやらないことになり、夏休みの汗だくの練習が無駄に。

- 二年二組の九里祭のAKB 27の練習。当日盛り上げるために、女子より女子らしく、練習風景を見せないをコンセプトに練習に励みました。夏休み中の暑い中、実験室で窓を閉め、カーテンを閉め部外秘での練習。熱かったですね!練習風景は上半身裸で、汗臭かったです。当日は女子よりも女子らしく踊っていました!ちなみに担任は実家で内股で踊る練習をしていて、膝を痛めました・・・

- 三年一組の思い出は九里祭での焼きそばの完売!・・・完売したんですよね?何故だろう。後片付けをしていたら、焼いていないそばが出てきたね。不思議ですね。夏なのに、サンタさんがプレゼントしてくれたんですかね?

- 2-4、3-3と担任させていただきました。クラスマッチや体育祭など、行事では私以上に「ものすごく」燃えてくれました。毎回、入賞できて、頼もしい生徒たちでした。2年生の時の、豆つまみ決勝戦の緊張感は今でも忘れません。

- 入学式当日、「第1号そして最終号」として「最初で最後の学級通信」を出した。旧1年1組の生徒は、この貴重な学級通信を大事に部屋に貼っているだろうか?内容は覚えているだろうか?入学式に出会った限られた人しか見ることのできない貴重な学級通信の一部を紹介しよう!

- 生徒諸君へ  
入学おめでとう!今日のこの日を迎える事が出来たのは、保護者の方々や中学校の先生あるいは友人・知人のおかげである。そして何より自分が九里学園への入学を決めたのである。  
このことを絶対に忘れるな!!!  
自分の決断に責任をとること、そして、多くの方々に感謝し、今の気持ちを忘れずに、高校生活を送って欲しい。

今、あらためて読み返してみると、いいこと書いてるな～ 俺

# 卒業おめでとう！

## 保護者からのメッセージ

### 希望

一組保護者 古瀬 雄二

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間で沢山の事を学び、様々な体験をし心も体もたくましく立派に成長した事だと思います。これから始まるそれぞれの新生活に向けて、期待と不安でいる事でしょう。これからの長い人生、挫折や失敗があるかもしれないませんが、前向きに希望を持って夢を叶えて下さい。そして九里学園で学んだ「礼・讓」の精神を忘れずに。

### マイペースで

二組保護者 高橋貴恵子

卒業おめでとうございます。みなさんは新しい生活を前に期待や不安でいっぱいのことと思います。そんなみなさんにあえて一言。「がんばるな」  
新しい環境で毎日をこなしていくだけでみなさんは十分にがんばっています。自分にプレッシャーをかけすぎずに新生活を楽しんで下さい。

### 未来の君たちへ

三組保護者 松山 昌治

私が高校を卒業するとき、親のことなど考えていなかったでしょう。そんな自分が今、卒業するわが子の前に、大きくなった姿を喜び、さらなる成長と幸福を望んでいたのだろう親を感じています。九里学園高等学校卒業おめでとう。卒業することは次の一步を踏み出すことです。そんな嬉しさと不安を持つ君たちに祥多かれと祈り、お祝いと応援の拍手を贈ります。

### ファイト！

四組保護者 菅野 恵子

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。  
振り返れば：部活の悩み、学校での生活態度や具合が悪い時など、常に連絡や話し合いをして頂き、きめ細かい配慮に、三年間担任で、心から感謝でいっぱいです。先生方から学んだ事や、学校生活で経験した事は、絶対栄養になったはずですよ。  
そして、掛け替えのない仲間は一生の財産として残りましたね。これからは社会のルールの中で、先輩方の意見を聞く耳と、素直で前向きに目標へ向かって努力して頑張ってほしいと思います。  
ファイト！

### 「めいごやん」の思ひ出

五組保護者 佐藤 洋子

年明け早々、友達と初詣でに出掛けていた娘からメールが届いた。珍しい長文に見入るとこんな文章があった。「今まで大事に育ててくれてありがとうね」；私はこの一文に涙が溢れ出て止まらなかった。過去の嫌な思いが一瞬にして吹き飛び、愛しく思えたからだった。  
ここでフト考えた。私は親に感謝などしたことがあったのだろうか。恥ずかしさも記憶にはない。すなわち、ないのだ。両親を失った今、この歳になって感謝の言葉の一つも言っておけば良かったと後悔している。  
携帯電話が普及している現在、恥ずかしいのであれば文字でも構わない。高校卒業を機に、親に「ありがとう」と感謝の意を伝えてみてはどうだろうか。  
親なら誰しも、一生忘れることのない、忘れられない「宝物」となり、心の奥底に優しく温かく刻まれるに違いないから……。

### 卒業生へのメッセージ

六組保護者 我妻 敏正

- 一、自分を大事に、人に優しく。
- 二、約束を守る。時間を守る。社会人として約束と時間を守ることは基本です。仕事では納期を守ることが重要です。
- 三、好奇心を大切に、学ぶ心を忘れずに。興味のあることを学ぶことは楽しいことです。学ぶことで人生を豊かにしてください。



# 支部活動報告

## 恒例・支部行事！

飯豊・小国支部長 舟山 豊幸

飯豊・小国支部の恒例の行事として、各利用駅の駅舎にプランターを設置しました。また、小国駅ではプランターの他、ホームの花壇にも花を植え、色とりどりの花が生徒の他、一般の利用客の気持ちを和ませているのではないかと思います。

もうひとつの恒例行事として総会、交流会時に駅舎の清掃を行っています。クモの巣とり、ガラス磨き、トイレ清掃など手分けして気持ちを込めて行いました。

子供たちが毎日お世話になっている駅舎の清掃を行うことで感謝の気持ちを大切にしていきたいものです。

支部活動を通じて、親子で奉仕活動を行うことは大変貴重な時間であったと感じています。今後も支部の恒例行事として続けていければと思います。

## 支部活動で繋がりを

高畠支部長 島津 敏弘

高畠支部は高畠町内の四つの区が一緒になって運営されており、年間の支部活動は全体で年三回と、準備企画する為に付随しての役員会を行っております。

全体での活動内容は、九里廣志校長先生に來町頂き講演を頂いたり、校長先生との意見交換などの懇話会的な企画がほとんどですが、いつの間にか固定化された中で、皆が当たり前のように楽しみとしている状況です。又保護者同士の繋がりが強く、いつも時間を忘れて語りあっております。

今後も高畠支部活動において、保護者間の繋がりが、学校と家庭の繋がりを強く結ぶひとつの機会として、より充実した支部活動を企画して頂きたいと思っております。

## 支部活動について

南原支部長 田中 正行

南原支部では、今年度も野球部の保護者の方々と合同で、野球場の周辺の草刈りをしました。早朝にも関わらず、参加していただいた保護者の皆様大変ありがとうございました。また、校長先生と語り合いました。また、校長先生と語る会では、学校の事、子供の事など、色々な事について、校長先生と話し合えて、有意義な時間を過ごせました。三年生を送る会では、ボーリング大会、その後、食事会と楽しい時間を過ごせたと思います。三年生も良い思い出ができたのではないのでしょうか。南原支部も、生徒の数が減少しつつありますが、支部活動も大変になりつつありますが、子供達の為にも、支部活動を続けていってほしいものです。

ご卒業おめでとうございます。



# 平成二十三年度 第二学年褒賞受賞者

( ) 内の数字はクラス名

## 学習活動優秀賞

金子 瞭(1) 左右田 和馬(1)  
高橋 将太(1) 竹田 尚平(1)  
遠藤 駿(2) 平 龍希(2)  
高橋 郁人(2) 青木 優希子(3)  
内海 利保(3) 大滝 幹実(3)  
小野 菜摘(3) 片桐 碧美(3)  
鳥貫 なつみ(3) 高橋 由佳(3)  
長沼 香苗(3) 深沢 和礼(3)  
松山 円香(3) 栗田 亜也加(4)  
笹原 有純(4) 高橋 杏奈(4)  
山口 美里樹(4) 渡邊 莉加(4)  
小貫 愛美(5) 金子 葵(5)  
金子 奈央(5) 色摩 ともみ(5)  
西山 佳歩(5) 波部 愛(5)  
石井 美沙樹(6) 尾形 夏美(6)

## 特別教育活動〈功労賞〉

### ◆陸上競技部

金子 堯宙(2)

### ◆陸上競技部

鳥貫 大貴(2) 相馬 彪士(2)

### ◆新聞部

稲部 里香(4) 小貫 愛美(5)

### ◆卓球部

姜 暁 旭(3)

遠藤 翠(3) 山口 美里樹(4)

### ◆保健厚生委員会

二階堂 可奈(3) 新藤 茜(4)

### ◆スキー部

鳥貫 なつみ(3)

### ◆女子バスケットボール部

近野 由莉香(4) 鈴木 里奈(4)

### ◆図書委員会

布施 友莉恵(3)

## 特別教育活動〈優秀賞〉

### ◆卓球部

伊藤 耕平(1) 加藤 琢也(1)

### ◆吹奏楽部

鈴木 里奈(3) 二階堂 可奈(3)

### ◆生徒会執行部

古瀬 啓生(1) 高橋 光(1)

左右田 和馬(1) 柏倉 芳樹(2)  
内海 利保(3) 片桐 碧美(3)  
小泉 七海(3) 長沼 香苗(3)  
布施 友莉恵(3)

渡部 実希(3) 波邊 莉加(4)  
新藤 茜(4) 笹原 有純(4)  
高橋 杏奈(4) 塩野 絢(4)  
石田 裕子(5) 金子 奈央(5)

高橋 琢哉(2) 渋谷 宇範(2)  
松山 円香(3) 金岡 里奈(3)  
深沢 和礼(3) 瀧 なつ美(3)  
金子 葵(5) 西山 佳歩(5)  
狩野 七海(5) 宮阪 美咲(5)



特別教育活動〈努力賞〉

◆卓球部

金岡里奈(3) 松山円香(3)  
佐藤愛美(5) 半谷遥奈(5)

◆バドミントン部

伊藤舞弥(3) 佐藤緩奈(5)

◆イラストアニメ愛好会

稲部里香(4) 太田菜月(4)  
土屋愛美(4) 西山佳歩(5)

三年間皆勤賞

高橋信泰(1) 古瀬啓生(1)  
渡部裕人(2) 島貫なつみ(3)  
鈴木里奈(3) 長沼香苗(3)  
高橋杏奈(4) 渡邊莉加(4)  
松崎夏実(5)

◆陸上競技部

高橋郁人(2) 長谷川 涼(2)  
外山佳奈(5) 佐藤 愛(5)

◆生活科学部

飯田真由(4) 鈴木真菜美(4)

一年間皆勤賞

樋口由昌(1) 平 龍希(2)  
高橋郁人(2) 青木 優希子(3)  
布施友莉恵(3) 渡部実希(3)  
鈴木真菜美(4) 西山佳歩(5)  
宮阪美咲(5) 武藤彩加(5)  
石井美沙樹(6)

◆ソフトボール部

青木 優希子(3) 高橋 楓(3)  
高橋由佳(3) 佐野 麻祐子(4)  
金子亜未(5)

◆野球部

金子 瞭(1) 齋藤雄樹(1)  
白石瑞希(1) 竹田尚平(1)

◆演劇部

五十嵐洋平(1) 松崎夏実(5)

◆弓道部

伊藤 涼(2)

◆ダンス部

安部朱李(3) 瀧 なつ美(3)  
金子 葵(5) 渡部 愛(5)

読書感想文優秀賞

大滝幹実(3) 深沢和礼(3)  
狩野七海(5)

◆女子テニス部

深沢和礼(3) 奥山桃子(4)  
宮阪美咲(5)

◆茶道部

野口 咲(3) 石川明歩(5)  
狩野七海(5) 東海林 希(5)

◆PC愛好会

本田晃宣(1)

◆男子バスケットボール部

高橋将太(1) 直海隆一(1)  
遠藤 駿(2) 太田雅人(2)  
海老名 快(6)

◆文芸部

紺野好香(5)



## 平成二十三年 進路状況について

進路指導課長 熊澤 広二

今年度の進路希望は、進学が七三%、就職二七%と昨年に比べて進学の割合が九ポイント増加しています。

大学・短大進学は、全体の三割を占め、分野は文系が七割、理系が三割となっています。学部は多様ですが、医療や福祉、保育の分野の希望が増えています。入試方法では、AOや公募、指定校推薦の割合が増え、一般受験の割合が少しずつ減っています。

専修学校進学は、全体の四割を占め、分野は、医療看護や衛生(調理・美容)、文化教養の希望が増えています。専門学校への進学については、将来の職業をしっかりと定め、学校見学などで間違いのない学校選択ができるよう指導しています。

就職は、東日本大震災や円高欧州通貨危機などで厳しい経済状況の中、県内の求人、昨年より若干の増加、反対に県外は減少しました。しかし、本校との信頼関係が厚い企業から今年も多く求

人を頂くことができました。このような厳しい環境の中でも本校生徒は就職活動に熱心に励み、例年通りの成果を達成できました。進学、就職とも、生徒の皆さんの進路実現への真剣な取り組みと保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。また、担任はじめ三学年の先生方の親身な指導と全校上げての指導で目標の進路実現達

成に近づいているものと思います。進学・就職のどちらにおいても、三年生になってからの準備や努力だけでは限界があります。在校生の皆さんは、今からしっかりと自分の将来を考え、明確な目標を持って進路実現のための準備にすることが大切です。

### ◆H23年度卒業生の進路別状況◆

平成24年2月15日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	13	7	20	16	2	13	31	0	51
女子	11	10	21	18	11	49	78	4	103
合計	24	17	41	34	13	62	109	4	154

### ◆就職関係(内定状況)◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者
男子	12	11	1	1	6	6	1	1	18	17	2	2
女子	9	9	2	2	10	10	0	0	19	19	2	2
合計	21	20	3	3	17	17	1	1	37	36	4	4
内定率%	96%				100%				100%			

### ◆進学関係(合格状況)◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	16	13	2	2	13	12	31	27
女子	18	17	11	11	49	48	78	76
合計	34	30	13	13	62	60	109	103
合格率%	88%		100%		97%		94%	

## 編集後記

三年間、広報委員をさせて頂きました。入学して頑張っている息子に、親も学校と関わられたらこの思いと、どんな風に学校生活をしているのか理解しておきたい気持ちからでした。

学校での行事を割と知らなかった保護者の方も多し中、学年行事としてのもちつき、文化祭の裏側、合宿での食事風景など、普通では見れない生徒さんの表情を同行の先生方が沢山撮って下さっていた記録が見れました。集合写真一枚を選ぶのにも何枚も比較でき、この役を引き受けたおかげと楽しく作業したものです。

入学してから学校でも家でも、色々な思いを抱き、泣き笑いた日々、家族にとっても大切な時間でした。

その学び舎から旅立とうとしている皆さんに、素晴らしいときを過ごせた幸せを噛みしめてほしいと思います。

忙しい中、編集のために何度も時間を作ってくれた皆さん、先生方本当に苦勞様でした。ありがとうございます。

(樋口 幸子)